

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)守口市東部エリア地域コミュニ	階数	地上3F
建設地	大阪府守口市大久保町一丁目39番	構造	RC造
用途地域	準防火地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2015年9月10日
敷地面積	2,490 m ²	作成者	(株)アルキービ総合計画事務所野村
建築面積	1,358 m ²	確認日	2015年9月10日
延床面積	2,478 m ²	確認者	(株)アルキービ総合計画事務所左善晋吾



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 77% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 77%

④上記+ 77%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	N.A.
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

機能性	3.4
耐用性	3.0
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性	4.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.9
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 <地域住民が安心して気軽に集える表裏のない施設計画> 住民が気軽に集える広場として、敷地周囲の辻に隣接する場所を緑豊かな広場とすることで、心地よい街角空間を創出する。 また、災害時には、避難施設となる各小・中学校と密に連携し迅速な情報収集・共有化を		その他 0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 <内装計画について> 本施設は、各室の用途や機能を明確にしつつ、それぞれの空間に視覚的な繋がり(連続性)を持たせるために、空間を構成する間仕切り壁にはほぼすべガラスを採用している。	Q3 室外環境(敷地内) <景観への配慮について> 本施設は、建物内外に緑豊かな森を創出することを目標に、旧藤田中学校の既存クスノキを残しつつ、建物と外構の緑とが一体となるよう計画している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0063

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

【建物概要】	建物名称	(仮称)守口市東部エリア地域コミュニティ拠点施設新築工事						
	建設地	大阪府守口市大久保町一丁目39番1の一部						
	用途/区分	集会所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
	CO2削減						4	
	省エネ対策						3	
	みどり・ヒート アイランド対策						3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
	エネルギー消費量の報告						報告しない	

【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
	項目	評価内容			スコア	評価		
	① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.9	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	3			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						3.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。						報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
	項目	評価内容			スコア	評価		
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0			
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							